

[第1号議案] 平成22年度事業報告及び収支決算報告書

平成 22 年度事業報告書 / 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

I. 総括

経済の回復が見えにくい厳しい環境の下平成 22 年度はスタートしたが、当年度は本格的に公益法人制度改革に対応すべく、目標としてきた公益社団法人認定のために「公益法人認定準備委員会」を立ち上げ入念に準備を進めて来ました。認定を申請するためには数多い資料作成にともない事業や運営組織、ガバナンスの再構築など定款変更に係わるワークも膨大であった。準備の経過では理事会確認を受けつつ、最終的には平成 23 年度の総会において承認を受け正式に「公益認定等委員会」に認定申請となります。今年度は計画予算に組み込まれていた事業の延期や規模縮小など複数件発生し、また会員数についても最終的には入会者を退会者が上回り社団法人以降ワースト 2 となった。補助金の対象ですが調査研究業務の「次世代サインデジタルサイネージ標準化の研究」は 40%一般会計から拠出などあり、決算の見直しには厳しさが予測されましたが、期中に 3 件の事業「鉄道機関の駅発車案内サインの現状調査と今後のデザイン検証業務」「案内用図記号事例収集業務」「湯原温泉内における調査研究事業」を受託する事ができたことと経費節減などでほぼプラスマイナス 0 ベースで決算を見る事ができた。人材育成事業「プロフェッショナル塾」ではデザインの最前線で活躍している 8 人の塾長を会員の中から選出し札幌で第 1 回を開催、好評を博す。第 2 回目の松山は開催前日で震災のため中止とした。海外交流ではウイーンで開催された IID 主催国際会議 SPACE-X に参加。日本における視覚障がい者のためのサイン事例報告を SDA より 2 名がプレゼンターを行ない SDA の UD に対するデザイン活動が認識された。公益社団法人の認定を目指す SDA は、サインデザインが果たす役割や価値創造をより一層深め公益法人として社会貢献を果たして行きます。

II. 事業実施状況

1. 調査及び研究事業

(1) 商業サインの調査研究（武山良三委員長）

- ・さまざまな事例調査、景観から受ける印象調査を行う。
- ・海外での屋外広告物調査を行う。

(2) サイン素材の調査研究

- ・『SDA サイン素材ディレクトリ 2009-10』を活用し、新たな情報収集および交流活動を行う。
- ・2011-12 年度版の可能性を探る。

(3) サイン音の調査研究／サイン音による交通移動拠点調査研究（横田保生、山口泰、竹内誠）

- ・国土交通省の「視覚・聴覚障害者の安全性・利便性に関する調査研究」ワーキング委員会のオブザーバーとして参加。
- ・音サインの普及啓発と音による視覚障害者移動支援のガイドラインの見直しの検討。

(4) デジタルサイネージの研究／標準化の研究（武山良三主査、宮沢功、山口泰、杉谷進、南木徹、金田享子、八島紀明、各委員、）

- ・文献調査、ヒアリング調査、コンテンツ調査を継続し、サイン業界における“デジタルサイネージの事業化”に必要な事項、デザインの標準化に関する検討を行う。
- ・業界のコンセンサスと共通認識を促進する。

(5) 案内用図記号の開発／平成 22 年度戦略的国際標準化推進事業（標準化研究開発）案内用図記号の標準化に関する研究委員会（宮沢功委員）

- ・独立法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 研究開発推進部標準化・知的財産グループ（N E D O）が委員会業務、委員として出席。

(6) 福岡市屋外広告物ガイドラインの作成（武山良三主査、宮沢功、佐藤優、定村俊満、各委員）

- ・福岡市の屋外広告物ガイドラインに盛り込むべき内容および指針となるデザイン基準の検討を行う。

(7) 国立障害者リハビリテーションセンター情報計画調査研究業務（島津勝弘主査、金田享子、前田耕造、中岡覚、各委員、他外部委員）

- ・視覚障害者に対応する音サインのみならず、さまざまな障害をもつ利用者の方々が安全、かつ円滑に施設を活用するための「情報提示計画」を検討する調査研究業務で、ユニバーサルデザインにおける情報伝達の可能性を探るためにも社会的に大きな意義を持つ。

(8) 鉄道機関の駅発車案内サインの現状調査と今後のデザイン検証業務（宮沢功主査、石黒一秀、大塚喜也、定村俊満、佐藤伸矢、南木徹、松淵泰典、各委員）

- ・首都圏の輸送管理システムの機能向上に伴い、J R 東日本の研究機関から駅利用者への情報提供の向上を目的とした、これからの駅に相応しい発車案内サインのデザイン検証業務。国内・外の鉄道機関の駅発車案内サインの現状調査を行い、今後の駅の在り方・環境・時代背景（高齢化・エコロジー）を考慮したデザインの検証と報告を行う。

(9) 案内用図記号事例収集業務（横田保生主査、赤瀬達三、児山啓一、大塚喜也、各委員）

- ・平成 14 年に案内用図記号（JISZ8210）として JIS 化されてからすでに 10 年が経過しある程度設置が進んでいる状況である。一方、策定された図記号では網羅しきれない目的での図記号が新たに作成・設置されている状況も見られる。そこで、誰でもが理解できる案内用図記号の充実のために、現在まで実際に作成され、設置された案内用図記号を収集、整理することを目的とする。

(10) 湯原温泉内における調査研究事業（山田晃三、高丸竜実、佐伯勲、坂手修三、秀浦純治、浜本浩司、広森俊樹、各委員）

- ・セミナー事業を受託し数回に分け開催。活性化のツール等の受託。

2. 普及及び啓発事業

(1) SDA 賞の実施 (久田邦夫委員長、久保茂、川崎和子、各副委員長、渡部純子、井桁康範、竹田正樹、小澤孝彦、金田享子、松淵泰典、鈴木一成、井原由朋、桑原美絵子、小林文豊、林義雄、安田昌弘、吉田恵三、吉村佳明、高丸竜実、坂手修三、大川原誠人、澤田学、中牟田 麻弥、梅本幸治、伊藝博、樋之口一真、各委員)

第 44 回 SDA 賞の実施。応募総数 233 点、地区審査を全国 8 地区で 5 月 15 日実施、地区デザイン賞 22 点、地区奨励賞 11 点、地区新人賞 3 点、地区特別賞 1 点を選出。第一次審査は 5 月 27 日に東京都港区台場 2-3-4 株式会社乃村工芸社：ノムラスタジオでおこなわれ、第 2 次審査対象作品 (入選作品) 118 点を選出した。第 2 次審査は 6 月 11 日に東京都港区のコトブキ DI センターにおいて実施し入賞作品 20 点が選出された。サインデザイン大賞・経済産業大臣賞 1 点、サインデザイン最優秀賞 5 点、サインデザイン優秀賞 4 点、サインデザイン奨励賞 10 点、招待審査員賞 4 点、特別賞・財団法人日本産業デザイン振興会会長賞 2 点を選出した。

第 44 回 SDA 賞贈賞式の開催。12 月 7 日東京都港区赤坂/東京ミッドタウン ミッドタウンタワー 5F デザインハブ インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターにて入賞・入選作品を顕彰した。

来賓：経済産業省製造産業局デザイン・人間生活システム政策室/廣瀬毅室長。財団法人日本産業デザイン振興会/阿部雅栄常務理事。

(2) SDA 賞巡回展の開催

北海道地区：2010 年 10 月 28 日～11 月 3 日/札幌デザインウィーク：NEX180 IKEUCHI 7F / JCD+DDA+SDA 合同

九州地区：2010 年 11 月 8 日～11 月 12 日/九州大学 LUNETTE / JCD+SDA 合同

沖縄地区：2010 年 11 月 23 日～11 月 27 日/沖縄県立博物館 / SDA 単独

関西地区：2010 年 11 月 29 日～12 月 6 日/日本の空間デザイン 2011 展：大阪くらしの今昔館 / JCD+DDA+SDA 合同

東北地区：2010 年 12 月 11 日～12 月 16 日/せんだいデザインウィーク：仙台メディアテーク / JCD+DDA+JIA+SDA 合同

中部地区：2011 年 1 月 24 日～2 月 5 日/日本の空間デザイン 2011 展：富山大学高岡キャンパス / JCD+DDA+SDA 合同

中国地区：2011 年 2 月 11 日～2 月 15 日/広島デザインウィーク：旧日本銀行広島支店 / JCD+HICA+SDA 合同

中部地区：2011 年 2 月 16 日～2 月 22 日/デザイントリプレックス 2010：栄ラシックホール / JCD+DDA+SDA 合同

関東地区：2011 年 3 月 8 日～3 月 11 日/ジャパンショップ 2011: ビッグサイト / JCD+DDA+NDF+SDA 空間デザイン機構合同

3. 情報収集及び提供事業

(1) インターネットの推進。(渡辺太郎委員長、松淵泰典副委員長、八島紀明、大塚喜也、各委員、事務局)

- ・リニューアル化したホームページの月二回更新を、事務局、広報委員会、ウェブデザイナーとの連携で定着化してきた。
- ・SDA ウェブサイト英語版を今期 HP 拡張計画の一環として編集会議、とりまとめをおこない 7/5 に新コンテンツとして UP した。
- ・HP 拡張の為の新企画の考察、資料集め、協議、立案の会議を行った。
- ・会員情報ウェブ、メールマガジンの配信。4/6.4/28.5/13.6/10.6/19.6/26.7/14.7/23.7/29.8/21.9/1.9/8.9/11.9/28.10/2.10/14.10/20.10/30.11/11.11/18.11/20.11/27.12/11.12/17.12/21.12/25.1/6.1/7.1/21.2/2.2/10.3/3.3/10.3/11.3/25

(2) SDA 賞作品集の発行 (宮崎桂委員長、金田享子副委員長)

- ・第 44 回 SDA 賞の特別編集報告書。審査員の講評や審査経過報告ならびに入賞・入選・地区デザイン賞の受賞全作品を編集。今年度は編集予算が厳しく入選作品がモノトーン印刷となったが、画像を大きく取り上げデザインデータとして価値の高い作品集となった。

(3) 定期刊行物の発行 (山田晃三委員長、大塚喜也、村田伸喜、各委員)

- ・「専門誌」とは何かについて思考し、委員会の役割をあらためて再構築すべきタイミングと考え、SIGN に対する思いや総意を知るため「SIGN についての円卓討論会」と称し 12 月 10 日秋葉原 UDX にて、会員限定のトークサロンを開催。討論者、参加者 40 名が出席。
- ・「サインとはこんなにも魅力的だ」これからのリーダーたちのこうした総意が、専門誌制作にとどまらず、あらゆる委員会活動に力を与えてくれることに期待したい。

(4) 合同年鑑の刊行協力 (年鑑刊行委員会委員：宮沢功、宮崎桂、平野隼太郎、各委員)

- ・「年鑑日本の空間デザイン 2011 ディスプレイ・サイン・商環境」(六耀社刊行) の編集・刊行に協力する。

4. 研究会・セミナー等開催事業について + 懇親会

(1) 地区研究会の開催 公共サイン研究会 -vol.1：札幌市教育文化会館

①北海道地区 公共サイン研究会 -vol.2：札幌市教育文化会館

カラーデザイン勉強会 -vol.4：札幌市教育文化会館

SDA 大賞サインセミナー / 講師：廣村正彰：かでの 27

- 公共サイン研究会 -vol.3: 札幌市教育文化会館 2010年2月20日/札幌
 カラーデザイン勉強会 -vol.5: 札幌市教育文化会館 2010年11月20日/札幌
 公共サイン研究会 -vol.4: 札幌市教育文化会館 2011年1月22日/札幌
- ②東北地区 . . . SDA 第3回出前セミナー: 米沢工業高校専攻科 2010年10月1日/米沢
 SDA 第2回米沢を考えるセミナー: 山形大学工学部記念会館 2010年11月6日/米沢
 東北・関東地区合同見学会: 山形 2010年11月6日~8日/山形
- ③関東地区 . . . 東京総会/青木淳氏シンポジウム: 乃村工芸社本社ビル 2010年5月28日/台場
 第69回東京サロン「サイン探検隊-JAL 整備工場」 2010年6月18日/羽田
 第70回東京サロン「箱根散策」: コトブキ箱根荘 2010年7月10日~11日/箱根
 第71回東京サロン「サイン探検隊-横田基地」 2010年8月21日/東京
 テーマセミナー「東京ディズニーリゾート開発」: 講師: OLC 2010年10月8日/舞浜
 第72回東京サロン「地区見学会「SDA 賞その後.米沢」」 2010年11月6日~8日/山形
 SIGN についての円卓討論会+交流会: 秋葉原 UDX 2010年12月10日/秋葉原
 サインセミナー「SDA 賞大賞セミナー」講師: 廣村正彰 2011年2月4日/浜松町
- ④中部地区 . . . 第1回メーカー視察セミナー: 名古屋樹脂工業株式会社 小牧工場 2010年6月26日/名古屋
 第1回身近な町の再発見: 中山道 信州 奈良井宿 2010年11月27日/長野
 アーティスト訪問: 現代美術の作家「山田彊一氏」 2011年1月29日/愛知
 デザインフォーラム: 富山大学芸術文化学部講堂 2011年2月2日/富山
- ⑤関西地区 . . . 第67回地区見学会「グリーンクロス」: 神戸ポートアイランド 2010年4月20日/大阪
 SIGN EXPO 2010 パネル展: ATC ホール 2010年6月16日~18日/大阪
 第68回地区懇親会 2010年12月15日/大阪
- ⑥中国地区 . . . 地区サロン 2010年4月10日/広島
 地区会議 2010年10月9日/広島
- ⑦四国地区 . . . 四国地区幹事会+勉強会 2010年9月8日/松山
 北川フラム講演会: 香川頭脳化センター 2010年9月29日/香川
 瀬戸内国際芸術祭見学会: 女木・男木島 2010年10月16日/香川
- ⑧九州地区 . . . 地区懇親会 2010年5月31日/福岡
 地区研究会: 中国上海 2010年6月24日~27日/福岡
 地区研究会: GAT 会議室 2010年8月20日/福岡
 地区研究会: 福岡市講堂 2010年8月23日/福岡
 佐藤優氏還暦をお祝いする会 2010年11月23日/福岡
 地区研究会「佐藤優氏講演会」: ギャラリー風 2010年11月28日/福岡
 地区研究会「島津氏講演会」: GAT 会議室 2010年12月6日/福岡
 地区研究会「定村氏講演会」: GAT 会議室 2011年1月21日/福岡
- ⑨沖縄地区 . . . 地区研究会「春の座談会」 2010年4月24日/沖縄
 地区研究会「サインデザインと景観について」 2010年11月26日/沖縄

(2) セミナー等への講師派遣

①プロフェッショナル講座

サインデザインの普及啓発を目的に、デザインの最前線で活躍する協会人材による、デザインのプロのノウハウを伝えるプロフェッショナル塾として、SDA 会員（理事）より8名を塾長として選任。サインデザイン領域から関連項目に関する内容を、2日間8つのカテゴリで講義。①日本のサインデザイン②建築とサインデザイン③プレゼンテーションの力④素材と美しい納まり作法⑤変わる景観とUDの視点⑥デジタルサイン⑦空間における色づかいの作法⑧参加型プロジェクト。

全国展開で、短期集中型のサインデザイン講習会。年間、3~4 地区で開催予定。

今年度は、北海道地区、四国地区で開催準備。

- ・プロフェッショナル塾 in 札幌: 札幌市産業振興センター 2011年2月19日~20日/70名参加
- ・プロフェッショナル塾 in 松山: アイテムえひめ 東日本大震災のため中止

5. 交流及び協力事業

(1) 国内関係機関との交流

- ①北海道地区・・・札幌デザインウィーク活動への参加・・・・・・・・・・2010年10月28日～11月3日／札幌
札幌デザインウィーク「サインセミナー」の開催運営・・・・・・・・・・2010年10月30日／札幌
- ②東北地区・・・せんだいデザインウィーク活動への参加・・・・・・・・・・2010年12月10日～15日／仙台
- ③関東地区・・・空間デザイン機構活動への参加・・・・・・・・・・2010年4月～2011年3月／東京
日本デザイン団体協議会（D-8）活動への参加・・・・・・・・・・2010年4月～2011年3月／東京
- ④中部地区・・・デザイントリプレックス 2011 活動への参加・・・・・・・・・・2011年2月16日～22日／名古屋
空間デザイン / デザインフォーラム：富山大学芸術文化学部講堂・・・・・・・・・・2011年2月5日／富山
- ⑤関西地区・・・近広連第 49 回公共サイン展／審査・贈賞への参加・・・・・・・・・・2010年6月16日／大阪
USD-O 第 10 回定例総会への参加・・・・・・・・・・2010年6月24日／大阪
USD-O 新春の集い参加・・・・・・・・・・2011年2月2日／大阪
- ⑥中国地区・・・PC 研・SDA 合同セミナーへの参加・・・・・・・・・・2010年7月8日／広島
広島県インテリアコーディネーター協会 10 周年記念参加・・・・・・・・・・2010年12月4日／広島
- ⑧九州地区・・・福岡デザインリーグ（FDL）活動への参加・・・・・・・・・・2010年7月11日／福岡
「ユニバーサルキャンプ」：海ノ中道海浜公園・・・・・・・・・・2010年11月6日～7日／福岡
「FDL デザインスクールキャラバン」：市立南当仁小学校・・・・・・・・・・2010年11月29日／福岡
「福岡デザイン界合同大望年会」への参加・・・・・・・・・・2010年12月15日／福岡

(2) 海外関係機関との交流活動（岩波智代子委員長、八島紀明副委員長）

- ・2010年のSDA海外視察ツアーは、眠れる獅子といわれたこの国が経済的な快進撃を続け開催に至った万博の見学と、中国が世界に君臨していた秦の始皇帝の都西安、その圧倒的な世界遺産「兵馬俑」を見ようという企画で、いくなれば中国の今と昔を巡る旅です。上海での一日は、九州地区の九州大学佐藤優先生が開催する、同済大学で行われる「アジア景観デザイン学会」の合同国際研究大会に参加。テーマは「より良い都市、より良い生活のためのデザイン」。実施期間：2010年6月24日～29日／20名参加
- ・IIID=International Institute for Information Design との交流。
ウイーンで開催されたIIID主催国際会議SPACE-Xに参加。日本における視覚障がい者のためのサイン事例報告を、SDAより横田保生、定村俊満の2名がプレゼンターをおこなう。開催期間2010年10月23日～10月30日／SDA会員6名+2名参加
- ・関東地区開催会員総会のタスク事業として、エクスカッションを企画運営。スカイツリー見学を行なう。実施日：2010年5月29日

(3) 国内関係団体活動への参加

- ・札幌デザインウィーク（北海道）せんだいデザインウィーク（東北）中部デザイン団体協議会（中部）大阪デザイン団体協議会（関西）近畿屋外広告美術組合連合会（関西）広島市産業デザイン振興研究会（中国）福岡デザインリーグ（九州）、のデザイン関係団体と共通のテーマで活動し交流を深める。
- ・財団法人日本産業デザイン振興会、全国中小企業団体中央会、社団法人商業施設技術者団体連合会と連携。評議委員会出席。

(4) D-8 の協力事業（D-8 委員：横田保生、宮崎桂、竹内誠、山口泰、宮沢功、杉谷進、平野遼太郎、玉木俊和、藤井将之、各委員）

- ・D-8 代表者会議、ジャパンデザインミュージアム設立準備活動、デザインミュージアムカフェ活動、デザイン保護研究会活動など参加。今年度はジャパンデザインミュージアム構想事業として第2回フォーラム、パイロットミュージアム、ワークショップを開催する。
- ・経済産業省が開催する、感性価値創造プログラムイベントへの参加。
- ・委員会開催日：4/6、4/8、4/12、4/22、4/30、5/10、5/19、5/20、5/24、6/14、6/18、6/21、6/29、7/7、7/15、7/20、7/27、8/8、8/4、8/9、8/23、8/26、8/27、9/31、9/6、9/14、9/15、9/17～28、9/29、9/30、10/18、11/4、11/15、11/18、12/27、1/21、1/27、2/14、3/4、3/30

(5) 空間デザイン機構の協力事業（空間デザイン機構委員：横田保生、井原理安、宮沢功、竹内誠、宮崎桂、平野遼太郎、各委員）

- ・役員会議開催。平成20年度4月～翌年3月まで月1度、合計12回開催。①空間デザイン賞の検討②年鑑刊行委員会の開催③広報委員会の開催④シンポジウム委員会の開催⑤ジャパンショップパネル展委員会など委員会は逐次開催。
- ・委員会開催日：4/6、4/20、5/18、5/25、6/15、6/29、7/20、7/22、8/17、8/19、9/27、10/14、11/16、1/18、2/22、3/7、3/8～11

III. 会議開催状況

1. 第17回通常総会	2010年5月28日(金) pm2:00~pm3:00	株式会社乃村工藝社 ノムラホール
2. 平成22年度第1回理事会	2010年5月28日(金) pm1:00~pm1:50	株式会社乃村工藝社 ノムラスタジオ
平成22年度第2回理事会	2010年10月15日(金) pm1:30~pm4:30	SDA 事務所会議室
平成22年度第3回理事会	2011年3月18日(金) pm1:30~pm3:30	SDA 事務所会議室
平成22年度準備理事会	2011年3月18日(金) pm4:00~pm5:30	SDA 事務所会議室
平成22年度常任理事会	2010年5月13日(木) pm3:30~pm5:00	SDA 事務所会議室
平成21年度月次通信理事会	4/27、5/27、8/27、9/28、10/29、11/30、1/28 2/7	SDA 事務所会議室 SDA 事務所会議室
3. 委員長及び地区代表幹事合同連絡会-1	2010年9月16日(木) pm1:30~pm5:30	SDA 事務所会議室
委員長及び地区代表幹事合同連絡会-2	2011年1月28日(金) pm1:30~pm5:30	SDA 事務所会議室
4. 平成21年度決算監査(内部)	2011年4月20日(木) am10:30~am12:00	SDA 事務所会議室
5. 各委員会		
・総務委員会	4/19、5/24、8/3、9/14、10/12、11/26、1/25 3/15	SDA 事務所会議室 SDA 事務所会議室
・選挙管理委員会	11/19、1/21	SDA 事務所会議室
・公益法人対策準備委員会	10/4、11/17、12/15、1/12、1/19、3/9	SDA 事務所会議室
・調査研究委員会	10/28、12/10、11/22	SDA 事務所会議室
・SDA 賞委員会	5/18、5/20、5/27、6/11、9/3、11/12、12/1、12/7	SDA 事務所会議室
・広報委員会	8/30	SDA 事務所会議室
・専門誌委員会	10/19、11/8、12/2、12/10	SDA 事務所会議室
・関東地区幹事会	4/2、4/23、5/18、7/16、9/3、9/24、10/29 11/26、1/14、2/25	SDA 事務所会議室 SDA 事務所会議室

IV. 後援・協賛名義承認リスト

・2010年4月9日	「パウハウス・テイストーパウハウス・キッチン」展	D8・日本ジュウリーデザイナー協会
・2010年4月24日	「open! architecture ～建築のまち・東京を開放する～」	UIA2011 東京大会日本組織実行委員会
・2010年4月27日	2010・40th JPM Creative Design Show	日本プロモーション・マーケティング協会
・2010年5月6日	第70回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2010	株式会社ビジネスガイド社
・2010年6月3日	「日本福祉のまちづくり学会 音サインシンポジウム」	日本福祉のまちづくり学会
・2010年6月30日	「JLEDS シンポジウム2010」	特定非営利活動法人 LED 照明推進協議会
・2010年7月26日	「プロと卵のエコデザイン展2010」	日本インダストリアルデザイナー協会
・2010年8月27日	5th サステナブルデザイン国際会議 "Destination 2010-2022"- サステナブルデザイン国際会議実行委員会	
・2010年8月31日	「JAPAN SHOP2011」	日本経済新聞社/財団法人店舗システム協会
・2010年9月22日	「第29回総合報道 OOH 賞」	総合報道
・2010年9月22日	第8回 主張する「みせ」学生コンペ	社団法人商業施設技術者・団体連合会
・2010年10月13日	Medical Design Award 2010	Medical Design Award 2010 実行委員会
・2010年11月25日	第71回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2011	株式会社ビジネスガイド社
・2011年1月14日	「第3回 JIDA プロダクトデザインセミナー」	日本インダストリアルデザイナー協会
・2011年2月17日	「デジタルサイネージ ジャパン 2011」	デジタルサイネージジャパン 2011 実行委員会
・2011年3月7日	第4回九州サイン&デザインディスプレイショー	九州広告美術協同組合
・2011年3月7日	第72回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2011	株式会社ビジネスガイド社
・2011年3月30日	2011・41th JPM Creative Design Show	日本プロモーション・マーケティング協会

平成22年度事業収支決算書（一般会計）／ 平成22年4月1日～平成23年3月31日 ／ 単位：円

科目	予算額	決算額	差異	備考
I. 事業活動収支の部				
i. 事業活動収入				
1. 入会金収入	390,000	300,000	90,000	注1
(1) 正会員入会金(個人)	300,000	300,000	0	
(2) 正会員入会金(法人・団体)	90,000	0	90,000	
2. 会費収入	17,256,000	16,828,000	428,000	注1
(1) 正会員会費(個人)	11,232,000	11,164,000	68,000	
(2) 正会員会費(法人・団体)	4,464,000	4,104,000	360,000	
(3) 賛助会員会費	1,560,000	1,560,000	0	
3. 事業収入	28,520,000	26,185,920	2,334,080	
(1) 調査及び研究事業	10,990,000	10,947,383	42,617	
① サイン音に関する調査研究	60,000	61,900	-1,900	
② デザイン保護の調査研究	100,000	115,000	-15,000	
③ サイン素材の調査研究	80,000	17,500	62,500	
④ 案内用図記号の開発	100,000	15,320	84,680	
⑤ 福岡市公共マップの作成	3,000,000	0	3,000,000	注2
⑥ 福岡市屋外広告物検討業務	2,000,000	126,000	1,874,000	
⑦ (音サインによる交通移動拠点)	0	0	0	
⑧ (佐賀県屋外広告物検討業務)	0	0	0	
⑨ 医療看護ピクトグラム	350,000	100,000	250,000	
⑩ 国立障害者リハビリセンター	5,000,000	5,000,000	0	
⑪ デジタルサイネージ	300,000	49,500	250,500	
⑫ 鉄道機関発車案内サイン	0	1,680,000	-1,680,000	注3
⑬ 湯原温泉	0	842,163	-842,163	注3
⑭ 案内用図記号事例収集作業	0	2,940,000	-2,940,000	注3
(2) 普及及び啓発事業	3,200,000	2,611,000	589,000	
① SDA賞の実施	3,200,000	2,611,000	589,000	
② SDA賞巡回展の実施	0	0	0	
③ 地区における普及活動	0	0	0	
④ 委員長・地区連絡会議の開催	0	0	0	
(3) 情報収集及び提供事業	3,080,000	2,454,310	605,690	
① 会報の発行	0	3,500	-3,500	
② インターネットの推進	0	0	0	
③ SDA賞作品集の発行	1,200,000	1,082,500	117,500	
④ 定期刊行物の発行	60,000	13,500	46,500	
⑤ 合同年鑑の刊行協力	1,800,000	1,354,810	445,190	
⑥ 会員名簿の発行	0	0	0	
⑦ 協会案内の発行	0	0	0	
(4) 研究会・セミナー等開催事業	7,870,000	6,290,557	1,579,443	
① 地区研究会の開催	5,470,000	5,582,557	-112,557	
・北海道地区	300,000	389,500	-89,500	
・東北地区	380,000	324,500	55,500	
・関東地区	2,700,000	3,372,660	-672,660	
・中部地区	400,000	262,397	137,603	
・関西地区	260,000	138,500	121,500	
・中国地区	330,000	75,000	255,000	
・四国地区	250,000	85,000	165,000	
・九州地区	750,000	825,000	-75,000	
・沖縄地区	100,000	110,000	-10,000	
② セミナー等への講師派遣	2,400,000	708,000	1,692,000	
・プロフェッショナル講座	2,400,000	708,000	1,692,000	注4
・地区事業支援	0	0	0	
(5) 交流及び協力事業	3,400,000	3,882,670	-482,670	
① 国内関係機関との交流活動	0	0	0	
② 海外関係機関との交流活動	3,400,000	3,056,220	343,780	
③ 国内関係団体活動への参加	0	0	0	
④ 海外関係団体活動への参加	0	826,450	-826,450	
⑤ D-8の協力事業	0	0	0	
⑥ 空間デザイン機構の協力事業	0	0	0	
⑦ 協会功労者の感謝事業	0	0	0	
4. 雑収入	20,000	3,486	16,514	
事業活動収入計	46,186,000	43,317,406	2,868,594	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
ii.事業活動支出				
1.事業費支出	34,738,000	34,936,171	-198,171	
(1)調査及び研究事業	9,622,500	10,912,929	-1,290,429	
①サイン音に関する調査研究	15,000	0	15,000	
②デザイン保護の調査研究	10,000	176,400	-166,400	
③サイン素材の調査研究	0	0	0	
④案内用図記号の開発	60,000	0	60,000	
⑤福岡市公共マップの作成	2,700,000	0	2,700,000	注2
⑥福岡市屋外広告物検討業務	1,800,000	85,000	1,715,000	
⑦(音サインによる交通移動拠点)	0	0	0	
⑧(佐賀県屋外広告物検討業務)	0	0	0	
⑨医療看護支援ピクトグラム	0	0	0	
⑩国立障害者リハビリセンター	4,500,000	4,494,800	5,200	
⑪デジタルサイネージ	0	0	0	
⑫鉄道機関発車案内サイン	0	1,442,600	-1,442,600	注3
⑬湯原温泉	0	783,663	-783,663	注3
⑭案内用図記号事例収集作業	0	2,566,000	-2,566,000	注3
⑮事務局人件費	537,500	1,364,466	-826,966	
(2)普及及び啓発事業	6,703,500	6,213,752	489,748	
①SDA賞の実施	2,387,000	1,951,376	435,624	
②SDA賞巡回展の実施	600,000	310,724	289,276	
③地区における普及活動	329,000	306,000	23,000	
・北海道地区	18,000	18,000	0	
・東北地区	23,000	12,000	11,000	
・関東地区	162,000	161,000	1,000	
・中部地区	24,000	24,000	0	
・関西地区	16,000	6,000	10,000	
・中国地区	20,000	20,000	0	
・四国地区	15,000	14,000	1,000	
・九州地区	45,000	45,000	0	
・沖縄地区	6,000	6,000	0	
④委員長・地区連絡会議の開催	700,000	630,500	69,500	
⑤事務局人件費	2,687,500	3,015,152	-327,652	
(3)情報収集及び提供事業	5,344,000	3,695,778	1,648,222	
①会報の発行	0	0	0	
②インターネットの推進	1,100,000	815,500	284,500	
③SDA賞作品集の発行	900,000	849,450	50,550	
④定期刊行物の発行	60,000	5,713	54,287	
⑤合同年鑑の刊行協力	1,134,000	708,725	425,275	
⑥会員名簿の発行	0	0	0	
⑦協会案内の発行	0	0	0	
⑧事務局人件費	2,150,000	1,316,390	833,610	
(4)研究会・セミナー等開催事業	7,293,000	6,772,661	520,339	
①地区研究会の開催	4,993,000	4,974,775	18,225	
・北海道地区	270,000	370,894	-100,894	
・東北地区	342,000	310,344	31,656	
・関東地区	2,430,000	2,846,230	-416,230	
・中部地区	360,000	259,818	100,182	
・関西地区	234,000	118,400	115,600	
・中国地区	297,000	75,000	222,000	
・四国地区	225,000	85,000	140,000	
・九州地区	745,000	802,867	-57,867	
・沖縄地区	90,000	106,222	-16,222	
②セミナー等への講師派遣	2,300,000	822,354	1,477,646	
・プロフェッショナル講座	2,300,000	773,494	1,526,506	注4
・地区事業支援	0	48,860	-48,860	注5
③事務局人件費	0	975,532	-975,532	
(5)交流及び協力事業	5,775,000	7,341,051	-1,566,051	
①国内関係機関との交流活動	30,000	13,264	16,736	
②海外関係機関との交流活動	3,360,000	2,995,420	364,580	
③国内関係団体活動への参加	570,000	590,000	-20,000	
④海外関係団体活動への参加	150,000	976,450	-826,450	
⑤D-8の協力事業	360,000	190,615	169,385	
⑥空間デザイン機構の協力事業	230,000	200,000	30,000	
⑦協会功労者の感謝事業	0	0	0	
⑧事務局人件費	1,075,000	2,375,302	-1,300,302	

科目	予算額	決算額	差異	備考
2.管理費	11,248,000	8,020,072	3,227,928	
(1)人件費	10,178,000	9,980,779	197,221	
" 事業費へ振替	-6,450,000	-9,046,842	2,596,842	
(2)会議費	1,540,440	1,508,008	32,432	
(3)旅費交通費	675,580	661,760	13,820	
(4)通信運搬費	582,000	415,863	166,137	
(5)什器備品費	50,000	0	50,000	
(6)消耗品費	522,000	423,143	98,857	
(7)印刷製本費	70,000	71,925	-1,925	
(8)光熱水料費	216,000	282,974	-66,974	
(9)賃借料	1,978,200	1,978,200	0	
(10)事務委託費	787,500	787,500	0	
(11)慶弔費	70,000	2,970	67,030	
(12)交際費	30,000	8,400	21,600	
(13)事務機器リース料	384,300	384,300	0	
(14)雑費	613,980	561,092	52,888	
iii.他会計への繰入金支出	200,000	368,620	-168,620	
中小企業等活路開拓特別会計	0	368,620	-168,620	注6
	200,000			
事業活動支出計	46,186,000	43,324,863	2,861,137	
事業活動収支差額	0	-7,457	7,457	
II.投資活動収支の部				
投資活動収支差額	0	0	0	該当なし
III.財務活動収支の部				
財務活動収支差額	0	0	0	該当なし
IV.予備費支出	200,000	0	0	
	-200,000			注6
当期収支差額	0	-7,457	7,457	
前期繰越収支差額	8,719,175	8,719,175	0	
次期繰越収支差額	8,719,175	8,711,718	7,457	

* 活動費は1,000円とする。

* 借入金限度額は協会会計規定第24条2項の規定に基づくものとする。

収支計算書に対する注記

注1. 入会金収入と会費収入の予算内訳は、前年度の会員数をベースにした個人会員@48,000×232名、法人会員@144,000×30社、及び賛助会員@120,000×13社の年間を通しての会費収入と、入会金収入は、個人会員@30,000×10名による。尚、会費収入の決算額との差異は、年次途中の入会増と退会等による。

注2. 「福岡市公共マップの作成」は、今年度は事業の受託がなかったため当期は発生していない。

注3. 「鉄道機関発車案内サイン」、「湯原温泉」、「案内用図記号事例収集」、の差異は、事業の委託受注による。いずれも収入と支出の予算額がほぼ同額なので、予算の補正は行わなかった。

注4. 「プロフェッショナル講座」は、実施予定2回のところ、札幌では開催されたが松山は震災の影響で前日に中止としたため、1回のみとなったので収入・支出とも予算額より大きく減少となった。

注5. 「地区支援事業」の支出は、沖縄地区のセミナー等の支援の為である。小額の為予算の補正は行わなかった。

注6. 「予備費」は中小企業等活路開拓特別会計に充当した。

* 資金の範囲

資金の範囲には、現金預貯金、未収会費、未収金、未払金、前受会費、預り金、及び仮受金を含めている。

* 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	前期末残高
現金	312,475	24,910
普通預金	12,582,605	11,503,438
郵便振替	383,400	33,602
未収会費	630,000	360,000
未収金	2,296,120	5,359,866
合計	16,204,600	17,281,816
未払金	3,591,655	5,453,070
前受会費	3,090,000	3,024,000
預り金	136,227	85,571
仮受金	675,000	0
合計	7,492,882	8,562,641
時期繰越収支差額	8,711,718	8,719,175

平成22年度活路開拓調査・実現化事業収支決算報告書／平成22年4月1日～平成23年3月31日／単位：円
次世代サイン「デジタルサイネージ」標準化の研究

大科目	小科目	予算額	決算額	差異
補助金収入	調査研究事業	108,432	85,500	22,932
	ビジョン作成事業	480,372	346,380	133,992
当期収入合計		588,804	431,880	156,924
一般会計より繰入金		392,536	368,620	23,916
収入合計		981,340	800,500	180,840
事業費	調査研究事業			
	委員手当(専門家)	40,000	0	40,000
	委員旅費(専門家・業界側)	132,920	80,720	52,200
	調査旅費(専門家・業界側)	66,460	61,780	4,680
	会議費	2,400	0	2,400
	資料費	5,400	0	5,400
	小計	247,180	142,500	104,680
	ビジョン作成事業			
	委員手当(専門家)	40,000	0	40,000
	委員旅費(専門家・業界側)	66,460	0	66,460
	会議費	2,400	0	2,400
	資料費	5,400	0	5,400
	原稿料	210,000	308,000	-98,000
	印刷費	320,000	320,000	0
通信運搬費	89,900	30,000	59,900	
小計	734,160	658,000	76,160	
当期事業支出合計		981,340	800,500	180,840
当期収支差額		0	0	0
次期繰越収支差額		0	0	0
合計		981,340	800,500	180,840

キャッシュ・フロー計算書 / 平成22年4月1日～平成23年3月31日 / 単位:円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1.事業活動収入			
①入会金収入	300,000	900,000	-600,000
正会員入会金	300,000	900,000	-600,000
②会費収入	16,828,000	17,296,000	-468,000
正会員会費	15,268,000	15,736,000	-468,000
賛助会員会費	1,560,000	1,560,000	0
③事業収入	26,185,920	22,313,980	3,871,940
調査及び研究事業	10,947,383	8,244,986	2,702,397
普及及び啓発事業	2,611,000	3,154,000	-543,000
情報収集及び提供事業	2,454,310	3,071,900	-617,590
研究会・セミナー等開催事業	6,290,557	4,497,494	1,793,063
交流及び協力事業	3,882,670	3,345,600	537,070
④補助金等収入	3,486	38,413	-34,927
補助金収入	0	0	0
雑収入等	3,486	38,413	-34,927
事業活動収入計	43,317,406	40,548,393	2,769,013
2.事業活動支出			
①事業費支出	34,936,171	29,568,140	5,368,031
調査及び研究事業	10,912,929	9,133,767	1,779,162
普及及び啓発事業	6,213,752	6,360,016	-146,264
情報収集及び提供事業	3,695,778	4,140,137	-444,359
研究会・セミナー等開催事業	6,772,661	4,259,176	2,513,485
交流及び協力事業	7,341,051	5,675,044	1,666,007
②管理費支出	8,020,072	10,087,687	-2,067,615
人件費(事業費振替後)	933,937	2,384,792	-1,450,855
会議費	1,508,008	1,725,942	-217,934
旅費交通費・通信運搬費	1,077,623	1,291,849	-214,226
什器備品費・消耗品費・印刷費	495,068	538,963	-43,895
賃借料・水道光熱費	2,261,174	2,337,879	-76,705
リース料他	1,744,262	1,808,262	-64,000
③拠出金支出	368,620	408,110	-39,490
中小企業活路開拓特別事業	368,620	408,110	-39,490
事業活動支出計	43,324,863	40,063,937	3,260,926
事業活動によるキャッシュ・フロー	-7,457	484,456	-491,913
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2.投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2.財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	-7,457	484,456	-491,913
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,719,175	8,234,719	484,456
VII 現金及び現金同等物の期末残高	8,711,718	8,719,175	-7,457

貸借対照表 / 平成22年3月31日現在 / 単位:円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	13,278,480	11,561,950	1,716,530
未収会費	630,000	360,000	270,000
未収金	2,296,120	5,359,866	-3,063,746
流動資産合計	16,204,600	17,281,816	-1,077,216
2.固定資産			
(1)その他の固定資産			
什器備品	340,717	456,458	-115,741
電話加入権	40,320	40,320	0
敷金保証金	800,000	800,000	0
その他の固定資産合計	1,181,037	1,296,778	-115,741
固定資産合計	1,181,037	1,296,778	-115,741
資産合計	17,385,637	18,578,594	-1,192,957
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	3,591,655	5,453,070	-1,861,415
前受会費	3,090,000	3,024,000	66,000
預り金	136,227	85,571	50,656
仮受金	675,000	0	675,000
流動負債合計	7,492,882	8,562,641	-1,069,759
負債合計	7,492,882	8,562,641	-1,069,759
III 正味財産の部			
1.一般正味財産			
正味財産合計	9,892,755	10,015,953	-123,198
負債及び正味財産合計	17,385,637	18,578,594	-1,192,957

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法は旧定率法を採用しています。なお、主な耐用年数は4～15年です。

(2)リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転する都認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は税込方式を採用しています。

2.会計方針の変更

該当ありません。

3.担保に供している資産

該当ありません。

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,544,240	2,203,523	340,717
合計	2,544,240	2,203,523	340,717

5.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

中小企業活路開拓事業(特別会計)に対し「全国中小企業団体連絡会」より、431,880円補助金収入受領。

6.関連当事者との取引の内容

該当ありません。

正味財産増減計算書 / 平成22年4月1日～平成23年3月31日 / 単位:円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①受取入会金	300,000	900,000	-600,000
正会員入会金	300,000	900,000	-600,000
②受取会費	16,828,000	17,296,000	-468,000
正会員会費	15,268,000	15,736,000	-468,000
賛助会員会費	1,560,000	1,560,000	0
③事業収益	26,185,920	22,313,980	3,871,940
調査及び研究事業	10,947,383	8,244,986	2,702,397
普及及び啓発事業	2,611,000	3,154,000	-543,000
情報収集及び提供事業	2,454,310	3,071,900	-617,590
研究会・セミナー等開催事業	6,290,557	4,497,494	1,793,063
交流及び協力事業	3,882,670	3,345,600	537,070
④受取補助金等	3,486	38,413	-34,927
補助金収入	0	0	0
雑収入等	3,486	38,413	-34,927
経常収益計	43,317,406	40,548,393	2,769,013
(2)経常費用			0
①事業費	34,936,171	29,568,140	5,368,031
調査及び研究事業	10,912,929	9,133,767	1,779,162
普及及び啓発事業	6,213,752	6,360,016	-146,264
情報収集及び提供事業	3,695,778	4,140,137	-444,359
研究会・セミナー等開催事業	6,772,661	4,259,176	2,513,485
交流及び協力事業	7,341,051	5,675,044	1,666,007
②管理費	8,020,072	10,087,687	-2,067,615
人件費(事業費振替後)	933,937	2,384,792	-1,450,855
会議費	1,508,008	1,725,942	-217,934
旅費交通費・通信運搬費	1,077,623	1,291,849	-214,226
什器備品費・消耗品費・印刷費	495,068	538,963	-43,895
賃借料・水道光熱費	2,261,174	2,337,879	-76,705
リース料他	1,744,262	1,808,262	-64,000
③固定資産増減	115,741	140,974	-25,233
当期減価償却費等	115,741	140,974	-25,233
経常費用計	43,071,984	39,796,801	3,275,183
当期経常増減額	245,422	751,592	-506,170
2.経常外増減の部			0
(1)経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
①中小企業活路開拓特別事業拠出金	368,620	408,110	-39,490
経常外費用計	368,620	408,110	-39,490
当期経常外増減額	-368,620	-408,110	39,490
当期一般正味財産増減額	-123,198	343,482	-466,680
一般正味財産期首残高	10,015,953	9,672,471	343,482
一般正味財産期末残高	9,892,755	10,015,953	-123,198
II 正味財産期末残高の部	9,892,755	10,015,953	-123,198

財産目録 / 平成22年3月31日現在 / 単位:円

科 目	金	額
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金		
現金手元有高	312,475	
普通預金 リそな銀行本郷支店	8,094,017	
普通預金 三菱東京UFJ銀行春日町支店	4,488,588	
普通預金 各地区	0	
郵便振替 東京貯金事務センター	383,400	
未収会費		
22年度個人会員会費 16名分	630,000	
未収金		
福岡市屋外広告物検討受託業務 1件	126,000	
案内用図記号事例収集業務 1件	1,470,000	
セミナー等への講師派遣業務 1件	85,120	
合同年鑑の刊行協力 2件	615,000	
流動資産合計		16,204,600
2.固定資産		
(1)その他の固定資産		
什器備品	340,717	
電話加入権	40,320	
敷金保証金	800,000	
その他の固定資産合計	1,181,037	
固定資産合計		1,181,037
資産合計		17,385,637
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金		
福岡市屋外広告物検討受託業務 1件	84,550	
案内用図記号事例収集業務 6件	2,427,300	
合同年鑑の刊行協力他 3件	746,111	
その他 10件	333,694	
前受会費		
23年度個人会員会費 68名分(延べ)	1,662,000	
23年度法人会員会費 14社分	1,008,000	
23年度賛助会員会費 7社分	420,000	
預り金		
源泉所得税 17件	136,227	
仮受金		
東日本大震災復興事業 28件	675,000	
流動負債合計		7,492,882
負債合計		7,492,882
正味財産合計		9,892,755
負債及び正味財産合計		17,385,637

決算監査

平成22年度決算監査について以下の通り報告いたします。

平成23年4月20日

社団法人日本サインデザイン協会

会 長 横 田 保 生



平成22年4月1日より平成23年3月31日までの会計全般について、決算諸表を統括的に監査した結果、いずれも正確に処理されていると認めます。

平成23年4月20日

監 事

岩 井 義 則



監 事

高 桑 厚 子

